

『まなこ』manako's  
扉をあけて…



扉のむこうに  
一歩踏み出すと、  
どんな世界が  
待っているかな…

イラスト / Naoko

# マザーズハローワーク東京を訪ねて

～就職を希望するすべての女性のために～

ワーク・ライフ・バランスを考える時、女性の再就職は大きな課題。  
ご存知ですか？女性のためのハローワーク。

女性の場合、出産を機に退職するケースが多いのが現状ですが、条件が合えば再就職したいと考えている女性は多数います。一方、少子高齢化が進み人口減少、労働力不足が見込まれており、女性の労働力活用は重要となっています。意欲と能力に応じた働きやすい職場環境の整備や、出産・子育てなどで退職した方への再就職支援の強化が国の課題となっています。政府の「女性の再チャレンジ支援プラン」のひとつにマザーズハローワーク事業が盛り込まれ、18年4月1日、全国12か所にマザーズハローワークが設置、東京では渋谷宮益坂にマザーズハローワーク東京が開設されました。子育て中の方ももちろん、すべての女性のニーズに応じた就職支援を行っています。現在はマザーズハローワークが設置されていない県すべてにマザーズサロンが設置され、マザーズハローワーク同様の事業を行っています。また今年度から全国に50か所、マザーズコーナーが順次設置の予定です。

取材 守谷洋子・林 直子(文)

個々の実情を考えたいきめ細やかな支援

## A子さん・30歳代



出産を機に仕事をやめた。子どもが3歳になるので、働きたい。

- ➔ マザーズコーナーでカウンセラーの個別就職支援(予約担当制)
- ➔ チャイルドコーナーで子どもを遊ばせながら求人検索
- ➔ 両立しやすい求人を受ける
- ➔ 情報コーナーで保育施設情報を受ける

## 相談事例をご紹介します

## B子さん・40歳代



子どもが小学校入学、働きたいがブランクは7年ある。

- ➔ マザーズコーナーでカウンセラーの個別就職支援(予約担当制)
- ➔ 自分に何ができるかアドバイスを受ける
- ➔ パソコン講習受講 ➔ パートタイムの求人を受ける

※マザーズコーナー：子ども(20歳未満)がいる人  
レディスコーナー：それ以外の人  
子育てとの両立を希望していれば、男女問わず利用可

## C子さん・20歳代(未婚)



他業種に転職希望

- ➔ レディスコーナーでキーワード検索を使用し  
てより良い仕事探し
- ➔ 選考突破セミナーを受ける
- ➔ アドバイザー相談コーナー(予約制)で相談  
(自己分析・適職相談・面接対策など)
- ➔ 適職の求人を受ける



ぜひ、一度 マザーズハローワーク東京をお訪ねください!!

〒150-0002  
渋谷区渋谷1-13-7  
千秋ビル3階  
tel 03-3409-8609  
fax 03-5468-0250  
http://www.hw-shibuya.go.jp/  
mothers.html  
平日 午前10時～午後7時  
土曜 午前10時～午後5時  
日曜・祝日は休み

## 字コラム

『まなこ』レポーターの方に順番に執筆していただきます。

### 自分らしく生きるために

新倉育男(境南町)



生きていくうえで大切なこと

ワークとライフは心の持ち方次第。同じ家事というくりの中でもふたつに分かれる。義務と感ずることはワーク、自分がしている楽しいと思えることはライフ。時間の区切りをつけて、「ここまではワーク」「ここからはライフ」と決めて過ごすことが心地良い。ワーク・ライフ・バランスは、年齢に関係なく生きがいや、やりがいにつながっていくと思う。社会に家族に誰かに必要とされていると実感することは、とても大切。ワーク&ライフを上手に棲み分けさせることで、自分の為、人の為になるのではないかな。

### 生きていくうえで大切なこと

橋本光枝(境)



## あなたが考える ワーク・ライフ・バランス

■平成20年度市民協働推進課男女共同参画担当の予算は17,099,000円です。内訳は、

- ①男女共同参画推進市民会議費4,606,000円  
武蔵野市第二次男女共同参画計画策定のための市民意識調査費、検証・検討のための市民会議費等。
- ②むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営費 7,413,000円  
武蔵野市市政センター2階の市の男女共同参画を推進する拠点であるむさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営費。男女共同参画問題に関する市民・団体の自主活動・情報交換・ネットワーク化などを促進。管理・運営委託料、光熱・電話・回線通信費、複写・印刷機借上料など。
- ③男女共同参画施策事業5,080,000円  
講演・講座実施、男女平等情報誌『まなこ』作成、男女共同参画推進団体活動事業補助金など。

■19年度男女共同参画推進団体活動補助金交付対象事業の紹介

これは男女共同参画推進団体が男女共同参画社会の実現に向けて行った研修・調査・研究等の活動に対し、経費の一部を補助し、活動の活性化と市の施策の推進を目的としています。

補助金の交付は、1団体各年度1回、上限5万円です。申請団体が多数の際は、交付されない場合があります。手続きは市民協働推進課へお問い合わせください。



イラスト/Naoko

- \*①NPO法人むさしの経営支援パートナーズ ②女性起業セミナー「女性が店を開くとき」(全3回講座)
  - \*①武蔵野市婦人団体連絡協議会 ②戦後60年、武蔵野市民の空襲被害について状況の収集、小冊子作成
  - \*①武蔵野ブラショフ女性問題研究会 ②男女共同参画シンポジウム「ルーマニアの男性・女性 日本と同じですか?」
  - \*①日本・大空クラブ②「親子紙ヒコーキ教室」(6回開催)
  - \*①NPO法人ウイッシュ・プロジェクト ②「効果的広報活動のためのブログの作り方講座」(全3回開催)
  - \*①ひまわりママ ②松崎運之助講演会「母からの贈りもの」
  - \*①生活クラブ・グループ創 ②講演会「食育ってなに?賢く食べる人になろう」
  - \*①むさしの市女性史の会 ②武蔵野市女性史の資料の整理・女性の活動の調査
  - \*①ブラックライトシアターひらけ黒ごま ②ブラックライトシアター上演
  - \*①むさしのスカーレット ②アジア女性のパワフルトークIIスリランカ編「女性の暮らしかた」
  - \*①らっこの会 ②お買物のできる国際協力「フェアトレードカフェ」
- [19年度11団体実施]
- ①団体名 ②内容

■平成20年度 市の新規採用者は38名です。

男女比は一般事務職で女性7名男性5名。一般技術職、女性2名男性9名。保育士は女性8名男性3名、保健師は女性3名。公募保育園長女性1名でした。

■企画政策室市民協働推進課 男女共同参画担当

TEL 0422(60)1869 FAX 0422(51)9540  
URL <http://www.city.musashino.lg.jp/>

Reporters' 200 Words

レポーターの200

私の一日の着地点は夜8時。1才と4才の子どもを寝かしつける時間です。そこを目指して朝から段取りを組んで生活しています。日中、自分のための時間は疲れがドツと出て子どもと一緒に寝る始末。でも、今は私の家事能力を鍛えるときと言いつけています。家事は段取り次第で大きくちがうから。段取りがうまくいき、お茶のひとときが持てたときに生まれる心のゆとり。これが私を落ち着かせてくれます。



井上牧子(中町)

心のゆとりを保つには

人生を「潤い」あるものとするには、自分の心に「素直」に向き合うことと併せて「形式」に囚われず「常識」に照らし合わせて物事を判断する姿勢が求められるのではないのでしょうか? 始めは、周囲と「軋轢」を生じることもあるでしょうが、コミュニケーションで「調和」に努めつつ、先ず、自らが「勇氣」を持って「範」を示していくことが、社会全体のワーク・ライフ・バランスの改善につながっていく「早道」ではないかと感じます。

平成20年度『まなこ』レポーターを紹介します

●新倉育男 (40代)

男女共同参画を推進するには、育児後の女性が就業しやすい社会システムの構築が急務です。この機会を借りて勉強したいと思います。

●田中 博 (60代)

住み慣れた自分の町を知らないことに気づきました。『まなこ』を通じて地域と触れ合い、これまでの経験を生かすことが出来ればと考えています。

●井上牧子 (30代)

子育てが始まり、自分の住む町、取り巻く社会にもう無関心でいられない。子どもの未来に思いを馳せ、自分の将来を案じながら…。

●松田由有 (20代)

読みごたえのある『まなこ』のファンでした。今回、レポーターとして誌面参加できることを嬉しく思っています。

●橋本光枝 (30代)

新しいことにチャレンジしていく精神を忘れたくない。一つのテーマを奥深く考え追求していく『まなこ』に携わることで新たな一歩になればと思っています。



4月16日(水)10:00～12:00  
市役所606会議室にて

●林 直子 (20代)

ライフステージで抱く疑問や不安を率直に取り上げ、幅広い世代の意見や体験談を、レポートしたいと思います。

●柴井 薫 (40代)

形のない「思い」や「気持ち」。それらを書くことによって、読んだ誰かの心に響いたり、勇気づけたりできたらいいな…と思います。

●藤元ちえ (40代)

この『まなこ』を知って、少しだけ自分の世界が広がりました。読んだ方の小さなきっかけになるようなお手伝いができたらと、思います。

●三浦雅子 (20代)

文章を書く場を与えてもらったことに感謝！けれど不安で胸一杯。「案ずるより産むが易し」をモットーに挑戦していきたいと思っています。



BOOKS

今回のテーマに関する本を、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書の中から

●カチャ・クルマン32歳

産まないって決めたわけじゃなくて…

カチャ・クルマン著 たかおまゆみ訳 新水社

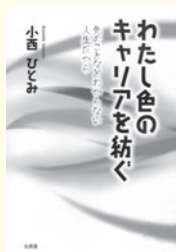


アメリカのテレビドラマ「アリー myラブ」は多くの方が共感しながら見ていたものです。原題は「アリー世代」。仕事や恋人探し、30歳前後の揺れる思いはこの国も同じ。ありあまるほどの選択肢を目の前にして「出産ストライキ」を起こすのはなぜか？著者の正直さは読み手に共感と反発を与えるが、国や文化を超え、私たちの「生きづらさ」を浮き彫りにさせている。

●わたし色のキャリアを紡ぐ

先のことなどわからない人生だから

小西ひとみ著 北辰堂



人生という白いキャンバスに、わたし色の人生を描こうとデザイン会社に入り、外資系企業からキャリアカウンセラーとして独立するまでの道りが綴られています。寿退社が一般的だった時代、常に「今よりちょっとだけ良くしたい」と思い続け、ひとつまたひとつとキャリアアップをめざした著者。あなたはどんな色の人生にしたいですか？改めて考えることができた一冊です。

武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター2階 TEL・FAX 0422 (37) 3410  
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp URL http://www.mhnc.jp/

編集後記

★ postscript ★ postscript ★ postscript ★ postscript

★ STAFF

レポーター	井上牧子 柴井 薫 田中 博 新倉育男 橋本光枝 林 直子 久松義孝 藤元ちえ 松田由有 三浦雅子
取材・編集	作部径子 (編集長) 戸田真帆子 浜 俊子 林 直子 守谷洋子
取材協力	遠藤梨栄
表紙デザイン	きたもりちか
レイアウト	小井戸厚子
印刷	社会福祉法人 東京コロニー

『まなこ』が新しくなり、新年を迎えたような気持ちです。抱負はパソコン上達！私も新しく生まれ変わらねば…。(戸田真帆子)

ここ数ヶ月、「ワーク・ライフ・バランス」論に浸ってきた。でも、振り返ったら我が家庭生活はかなり乱調！(浜 俊子)

仕事も生活もバランスよく…言うのは簡単ですが、とても難しいことだと思います。時間を大切に使わなくては！(林 直子)

使っていないかった脳細胞をどんどん動かして考える、また考える。『まなこ』はとても刺激的です。(守谷洋子)

6年ぶりに『まなこ』に戻ってきました。今までの歴史を受け継いで、また新しい風も吹き込んでいきたいと思っています。(作部径子)

10月15日発行予定の72号は「知る」ために、地域の情報ネットワークを活用しよう(仮)がテーマです。必要な情報を収集し、伝えていくにはネットワークが重要な役目をはたします。一緒に考えてみませんか？